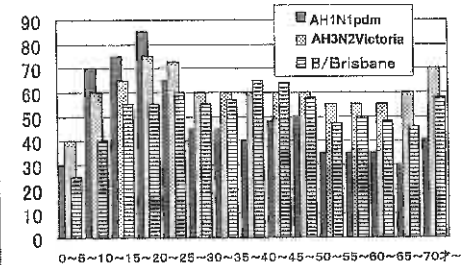


安佐医師会サーベイランス週報 第46週 平成23年11月14日(月)～平成23年11月20日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	25定点		
	対象人口	68,056名	83,368名	34,646名	43,797名	57,805名	65,997名	21,582名	9,445名	384,696名		
	定点数当り人口	17,014名	16,674名	17,323名	21,899名	14,451名	13,199名	10,791名	9,445名			
1 R Sウイルス感染症	1		2			1			1	5	↑	<p>【第46週 安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>4. 感染性胃腸炎: 41週33件から増加中、今週71件</p> <p>6. 手足口病:37→21→14件と減少中、しかし例年よりはるかに多し</p> <p>20. マイコプラズマ肺炎:18→15→17件、5月ごろより長らく流行中</p> <p>12. インフルエンザ:A型11→10→6件(沼田5、安古市1)</p> <p>22. その他は「単純ヘルペス」「菌欠症」</p> <p>○インフルエンザ情報 広島市医師会検査センター報告 15→9→8件(46週) 中四国定点報告総数 86→75→68件(45週) 全国定点報告総数 433→464→674件(45週) 沖縄、宮城、愛知多し</p> <p>H23年度インフルエンザ抗体保有率状況調査 …国立感染症情報センター ・2011年7～9月(ワクチン接種前) 今季ワクチン株に対するHI保有率 ・対象25県4,950人対象 ・感染リスクを50%に抑える目安であるHI価1:40以上の抗体保有者の%を示す</p>
2 咽頭結膜熱	1				3					4	↑	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8		5		3	4			2	22	↑	
4 感染性胃腸炎	5	14	4	2	22	22	2			71	↑	
5 水痘	1	2	1	1		1				6	↓	
6 手足口病	6	1		1	5	1				14	↓	
7 伝染性紅斑	1				2					3	↓	
8 突発性発しん		1		1	2					4	↓	
9 百日せき												
10 ヘルパンギーナ					1					1	↑	
11 流行性耳下腺炎		1	2			1				4	→	
12-Aインフルエンザ(A型)		1	5							6	↓	
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎		5								5	↑	
15 麻疹												
16 風疹												
17 MCLS(川崎病)												
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎	2	2	3		5	2			3	17	↑	
21 クラミジア肺炎												
22 その他		1	1							2	↑	
合計	25	27	23	5	43	32	2		6	164		



全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“イットコール” 安佐医師会 873-1840にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ベロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風疹、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り

・AH1N1pdmに対しては5～24才が60%以上と高い。こと15～19才は80%と高い  
・AH3N2に対しては0～4才のみ45%台、その他はすべて45%以上  
・B/Brisbaneに対してはほとんどの年齢層で比較的高く、こと35～44才は65%と高い。一方0～4才が10%未満と低い